

関西学連競技注意事項 事例集

更新日：令和3年1月27日

陸上競技の大会において、様々なルールが設けられていることは当然であるが、ここでは弊連盟および加盟校の競技会において多くみられるルール違反等に関して、事例を交えて紹介し、注意を喚起する。

ここに書かれていることを熟読し、弊連盟での競技会にかかわらず、各個人競技者としての自覚を持ち、随時更新される HP 内容および競技注意事項、申し合わせ事項等を熟読した上で競技会に臨むことを強く期待する。

【エントリーについて】

2020 年度よりメールエントリーを度々行っているが、期間・時間に遅れる大学、メールアドレスを間違える大学が発生している。エントリーを行う際、エントリーマニュアルがある場合はそちらを、ない場合は主務宛のメールに記載している内容を熟読し対応すること。

万が一、エントリー期間・時間に遅れた場合、原則出場を認めない。エントリーメールには全て弊連盟より返信を行うため、万が一返信メールがこなかった場合、送信先アドレスを再確認しエントリー期間・時間内に弊連盟事務局まで問い合わせ、エントリーの成否を必ず確認すること。

【記録証について】

エントリーの際、インカレなどでは記録審査用紙を基に記録審査を行う。その際、記録証明資料が必要となる場合があるが、証明資料には【選手名・記録・大会名・日程・場所】全ての記載があることが求められる。

(事例1) ウェブサイトに掲載してある記録を印刷して提出

→正式書類として認められない。URL も同様。

(事例2) 地域陸協開催の記録会のリザルトページではなく、陸協 HP の TOP 画面の URL を記載している。

→上記必要事項が全て記載しているページを提出。ない場合、記録証を発行すること。

【コール漏れ失格について】

特に多いのがこの“コール漏れ”である。インカレレベルの大会となると、対校得点にも影響してくるので、十分気を付けること。コールの様式は必ずしも全ての大会において一様に行われているわけではないので、必ず当該大会の競技注意事項に目を通すべきである。特に場所・時間・様式は必ず確認しておくこと。

(事例1) 当日欠場届を出さずに欠場。

→コール漏れ失格となり、インカレにおいては対校得点からの減点対象となるので、欠場する場合は必ず当日欠場届を提出すること

(事例2) 某大会の一次招集において、競技者は自分の組のレーン番号を確認したのち、自分のレーン番号に丸をつけなければならなかったが、丸をつけず失格。

→「競技役員が丸をつけていないことに気づけば指摘すべき」との抗議があったが、競技役員にそのような義務はない。競技者の自己責任となる。

(事例3) 某大会において、一次招集は雨天走路にて行い、二次招集を現地で行うこととなっていたが、一次招集を受けずに、そのまま二次招集場所へ赴き、一次コール漏れで失格。

→まれに現地招集のみの場合もあるが、競技注意事項で必ず場所・時間・様式を確認すること。

【リレー種目におけるオーバーゾーンについて】

当然競技をしている上でやむを得なくオーバーゾーンしてしまうことが多いが、競技者自身の勘違いや認識不足でオーバーゾーンになった事例も見られるので、リレーのテイク・オーバー・ゾーンについてはルールブックで確認しておくこと。

以下、直接競技上でのルール違反とはならないが、気を付けるべきことを列挙する。

【アスリートビブス（ナンバーカード）について】

アスリートビブスについては、“誤ったものを持ってくる”、“持ってくるのを忘れる”ということが多く見られるので、気を付けること。当然、正しいアスリートビブスを用意できなかった場合は当該競技会に出場できない。

(事例1) 2021年3月の大会において、2021年度の大会のアスリートビブスを持参してくる。

→2021年3月の大会は、2020“年度”の大会であるので、2020年度のアスリート

ビブスを使用しなければならない。“年度”単位で使用していることを覚えておくように。

(事例2) アスリートビブスを忘れた際、四角形の白布、または白い紙にナンバーを記入して代用。

→ルール上問題はないが、好ましくはない。また、インカレレベルの大会であると、総務・審判長の判断を仰ぐこととなり、必ずしも問題ないとは限らない。

【コーチ席（エリア）以外でのアドバイス・指示について】

これは往々としてある事例だが、コーチ席（エリア）は競技者の公平性を保ち、競技運営にも支障をきたさないように設けているため、主催者の定めたコーチ席(エリア)を遵守し、アドバイス・指示をすること。コーチ席以外でのアドバイス・指示は不当な助力として当該選手を失格とする可能性があるので、必ず主催者の指示に従うこと。

また、アドバイス・指示する際の電子機器類の使用について等（例えば、競技者に動画を見せる際、競技者は電子機器に触れてはいけない）の基本的な事項についてもルールブックや、競技注意事項等で把握しておくこと。

【競技会開催場所への来場方法】

大学主催競技会へ来場する際にも、競技会への来場方法は今一度大会要項や申し合わせ事項を熟読・確認すること。多くの競技会の場合、公共交通機関を利用するよう注意を促しているが、近隣施設への無断駐車も多く見受けられ、近隣住民から理解を受けることができず、最悪の場合は競技会を実施できなくなる。各競技会場へ来場する際には、どのような方法・手段で来場すべきかを事前に必ず確認すること。

～memo～

その他、フライング失格は事例が多岐にわたること、また競技者本人の競技力にも関わることなので、詳細は割愛する。ルールブックを熟読・確認しておくことを推奨する。